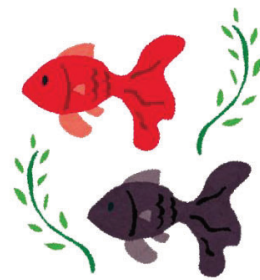


第 222号

# 連携室だより



公益財団法人  
北海道医療団

## 帯広第一病院

### 帯広第一病院理念・基本方針

【理念】

地域に信頼される病院を目指し、質の高い、思いやりのある医療サービスを提供する。

【基本方針】

- 1 患者の皆様の安全と権利を守ります。
- 2 地域医療機関との連携を推進します。
- 3 救急医療の充実に努めます。
- 4 研修や教育を積極的に行います。
- 5 働きがいのある職場を作ります。



撮影者：音更病院 看護部 高田 徳恵

### 今号の内容

- ・病棟運営の明確化を図るため病棟再編成を行いました 事務長 菊池 和浩 ..... (2)
- ・令和5年度地域医療連携室実績報告 地域医療連携室長 下川原 一彦 ..... (3)
- ・令和5年度訪問看護ステーションたなごころ実績報告 訪問看護ステーションたなごころ 所長 大溝 敬子 .. (4)

# 病棟運営の明確化を図るため病棟再編成を行いました

事務長 菊池 和浩

この度、帯広第一病院では令和6年度診療報酬改定に合わせ、6月より許可病床数及び運用病棟の再編成を行いました。許可病床数は従来の230床から199床へと減床といたしますが、多様化する入院患者様の幅広い受入れを行うことができるようにするため、これまでの病床機能は基本的に落とすことなく有効的なスタッフ人員の再配置を行い、地域包括ケアシステムに適応する医療提供ができるような病棟運用を図ることを目的として再編成いたしました。

従来 230床			再編 199床		
3A病棟	急性期一般病棟	54床	3A病棟	急性期一般病棟	48床
4A病棟	急性期一般病棟	54床	4A病棟	地域包括医療病棟	48床
4B病棟	地域包括ケア病棟	54床	4B病棟	地域包括ケア病棟	35床
5A病棟	障害者施設病棟	50床	5A病棟	障害者施設病棟	50床
5B病棟	緩和ケア病棟	18床	5B病棟	緩和ケア病棟	18床

特にこれまで2病棟あった急性期一般病棟の一つを、今回の診療報酬改定にて新たに創設された「地域包括医療病棟」として転換させるところが大きな再編となります。

この地域包括医療病棟は、高齢救急患者様を主として、入院当初からリハビリ及び栄養管理の介入を行うことにより、新規入院から早期退院までを担う一棟完結型の急性期病棟となり、従来の急性期病棟として救急搬送患者の受入れも行いつつ、回復期の良いところも加えた役割として運用し、今後増えることが予想される高齢者の中等症患者に対して退院までの包括的な医療をご提供致します。

また、地域包括ケア病棟につきましても、これまでコロナ病床として運用していたところもありましたが、この度35床と減床いたしますが、再開致します。

こちらの病棟では、地域における地域包括ケアシステムの鍵となる運用を目指し、急性期病棟での治療後に在宅までお帰り頂くまでを担うポストアキュート対応を積極的に行う他、在宅療養されている患者様の後方支援ベッドとしての役割、及びレスパイト入院など、在宅医療を支える地域の皆様が使い勝手の良い病棟としてご活用していただけるようにすることを考えております。

また、この二つの地域包括病棟の運用により、特に介護施設に入所されている方が体調を崩され、一時的な入院が必要となる場合の積極的な受入れを行うなど、地域における高齢者救急の中心的役割を担うことを目指しております。

そのほか急性期病棟、障害者施設病棟、緩和ケア病棟はそのまま継続して従来通り運用いたしますので、上記二つの新たな病棟運用を再編することにより、帯広第一病院ではそれぞれの病棟が特色の違う運用となりますが、これにより地域の皆様に対しましては、必要なニーズ及び疾病に対応した入院ベッドを選択活用いただけるようになると考えており、より地域と密着し貢献できる病院として進んでいくことができれば幸いです。

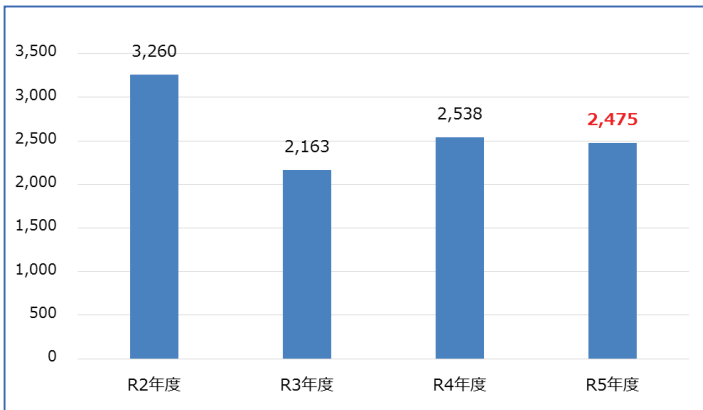
今後とも帯広第一病院を何卒よろしく願いいたします。

# 令和5年度地域医療連携室実績報告

地域医療連携室長 下川原 一彦

地域の先生方、関係機関の皆様方には日頃より大変お世話になっており、また多くの患者様をご紹介いただき、誠にありがとうございます。早速ですが、以下のとおり昨年度の地域医療連携室実績をご報告させていただきます。

表1

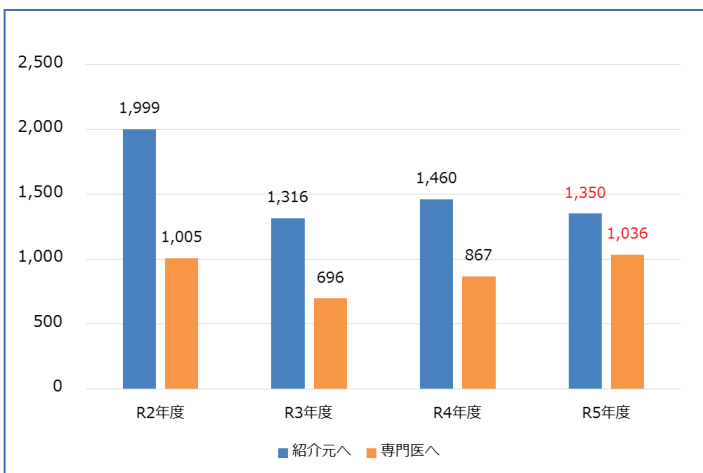


## 1 「紹介件数」

当院への紹介状況の推移を示したものが、表1となります。令和2年度からの推移となりますが、令和5年度は2,475件と、院内クラスターが大きく影響した令和3年度以前の状況には戻ってはおりませんが、当院で特に力を入れている消化器内科を中心としたご紹介が、今年4月以降は徐々に増えてきております。

当院では肝胆脾外科の高難度手術にも対応できる体制を整えておりますので、お困りの症例などが御座いましたら今後も是非ご紹介をお願いいたします。

表2

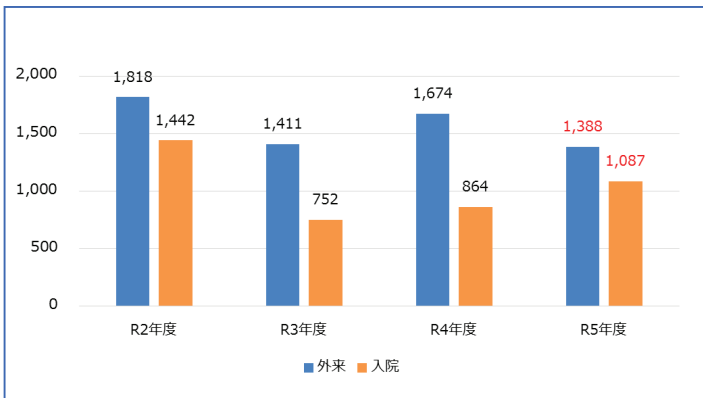


## 2 「逆紹介件数」

表2は逆紹介患者数の推移となります。青色のグラフが紹介元の先生へお戻りした件数、オレンジ色のグラフが専門医への紹介件数となります。こちらの逆紹介件数も紹介件数と同様、例年より大きく増えてはおりませんが、R5年度の専門医へのご紹介数は、コロナ禍前と比べて増えております。

当院では患者様の病状が落ち着き次第、紹介元の先生へお戻り頂く事を原則として対応しておりますが、病状的に難しい場合には専門医への紹介や、療養目的の転院、施設等のご相談もさせて頂いております。

表3



## 3 「紹介に伴う入院及び外来件数」

表3は紹介患者様の入院・外来の割合を示しています。昨年度ご紹介によって入院に繋がった方は1087件で全体の紹介件数の44%となっております。昨年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行した事も入院が増えた要因の一つと思われます。今年度もこれまで以上にスムーズな受診・検査予約に努めてまいりますので、引き続き当院地域医療連携室をご利用いただけますようお願い申し上げます。



# 令和5年度訪問看護ステーションたなごころ実績報告

## 訪問看護ステーションたなごころ 所長 大溝 敬子



地域の先生や地域医療連携室のスタッフの皆様には、日頃より大変お世話になりありがとうございます。現在、当事業所では看護師7名、理学療法士2名、作業療法士2名、事務員1名で在宅医療に取り組んでおります。令和5年度の実績をご報告致します。登録利用者数は月平均170名（前年比+18名）、訪問件数852件/月（前年比+26件/月）、自宅お看取りは14名/年（前年比-6名/年）となりました。

今後も住み慣れた地域で自分らしい暮らしができるよう、地域に寄り添い質の高い看護とリハビリを提供し、地域包括ケアシステムの核となる訪問看護ステーションを目指し快適な居宅療養を送れるよう支援させていただきます。また、24時間365日の支援体制で「たなごころ」の持つ温かい感覚と安心を地域の皆様、利用者様にお届けしたいと思いますので、今後共何卒よろしくお願ひ申し上げます。

### 令和5年4月～令和6年3月までの実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実人数		149	152	160	165	160	161	167	164	166	169	165	166	1944
延件数		815	820	910	903	855	840	876	836	860	796	863	847	10221
介護	人数	125	130	138	139	143	142	148	148	149	154	150	150	1716
	件数	614	677	758	718	743	711	748	722	750	717	748	737	8643
医療	人数	23	21	21	25	16	18	18	15	16	14	14	15	216
	件数	193	140	147	181	109	124	124	111	106	75	112	106	1528
公的訪問	人数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	件数	8	3	5	4	3	5	4	3	4	4	3	4	50
在宅看とり (GH等含む)	人数	2	1	3	2	0	1	1	0	1	0	1	2	14

発行 公益財団法人北海道医療団 帯広第一病院 地域医療連携室  
 〒080-0014 帯広市西4条南15丁目17番地3  
 TEL 0155-25-3121 (病院代表) / 0120-558-091 (予約専用)  
 FAX 0155-27-0248 (連携室専用) e-mail renkei@zhi.or.jp

